

2021年度 実務経験のある教員による授業科目一覧

共栄大学国際経営学部国際経営学科

※学外でのインターンシップや実習を中心に位置づけている授業科目を含む。

授業科目名	2017カリ授業科目名	クラス	単位数	教員氏名	実務経験と授業科目への関わり
心理学			2	和井田 節子	スクールカウンセラーの経験、企業におけるメンタルヘルスアドバイザーの経験、公認心理師の資格を活かして授業を行う。
環境と人間			2	小林 尚行	政府開発援助機関での実務経験を活かし、開発途上国の課題やSDGsへの取り組みに関する具体例等を提示できる。
世界事情と日本			2	平林 信隆	ソニーグループ在籍時代にグローバルビジネスに関わり、欧州ベルギーに駐在し、米国に留学し、スウェーデンに上司を持ち、世界各国へ出張をしてきた。これらの経験を活かし、単なる机上の学問にとどまらない、世界各地で起きている事柄や世界の人々の目に写る日本について解説する。
市民と法			2	安藤 尚徳	弁護士として、民事事件、家事事件及び刑事事件に携わった経験を活かし、実際に扱った事件を基に「活きた法」を解説する。
市民と社会システム			2	村田 美由紀	社会福祉士、介護支援専門員として社会福祉施設などでの勤務経験から、人権や市民生活の実際について具体的事例を交えながら講義を行っている。
基礎英語Ⅰ		a,b	2	佐合 弦一	27年間の高校教員歴から得た日本人学習者の特徴に関する理解を活かし、大学レベルでより効果が得られる教材作成、立案、授業展開をしていく。
基礎英語Ⅰ		c,d	2	小田 郁予	高等学校での指導経験を活かし、教室内での多様なインタラクションを通して英語運用能力を高める授業を行う。
基礎英語Ⅰ		e,f	2	小林 尚行	私立高校及び民間英会話学校での英語講師経験で得た教授方法を活用できる。
英語C			2	小林 尚行	政府開発援助実施機関や国連機関における外国政府機関や国際機関との英語での交渉経験を活かし、外交的な英語表現方法等について教授できる。
日本語A			2	山本 幸子	日本語学校で第2言語として日本語を学ぶ初級学習者に日本語をおしえた経験から、様々な日本語を解説する。
日本語B			2	山本 幸子	日本語学校で第2言語として日本語を学ぶ初級学習者に日本語をおしえた経験から、様々な日本語を解説する。
日本語C			2	山本 幸子	日本語学校で第2言語として日本語を学ぶ初級学習者に日本語をおしえた経験から、留学生への様々な日本語の指導を行っている。
ことばと表現Ⅰ			2	山本 幸子	高等学校で英語をおしえた経験から、英語と対比して日本語を見ることで日本語を意識し直すことができると解説する。また日本語学校で第2言語として日本語を学ぶ初級学習者に日本語をおしえた経験から、日本語を第1言語とする学生が日本語を見直すときのヒントを解説する。
ことばと表現Ⅱ		a,b	2	山本 幸子	高等学校で英語をおしえた経験から、英語と対比して日本語を見ることで日本語を意識し直すことができると解説する。また日本語学校で第2言語として日本語を学ぶ初級学習者に日本語をおしえた経験から、日本語を第1言語とする学生が日本語を見直すときのヒントを解説する。
ロジカルシンキング			2	太原 靖一郎	ワークを中心とした論理的思考を養う授業科目。社内研修講師経験（ビジネススキル研修：プレゼンテーション、ロジカルシンキング等）を活かし、企業での実例を教材にしたり、活用していたフレームワークや研修プログラムなどを学生向けに編集して利用している。
ビジネスコミュニケーション		a,b	2	平林 信隆	ソニーグループ在籍中に世界中のビジネスパートナーとのコミュニケーションや交渉の経験や心理カウンセラー・NLPトレーナーなどで実践してきた心理学の観点からのコミュニケーション技術のエッセンスを授業に活かす。
ビジネス文書基礎		a,b	2	村田 美由紀	証券会社での勤務経験から、演習形式でお客様に対する社会人としてのビジネスマナーや文書の書き方などの授業を行っている。
多文化理解			2	平林 信隆	スウェーデン人の上司を持ち、世界中を仕事や旅行で駆け回ってきた。これらの経験を活かし、単なる机上の学問にとどまらない、多文化理解、異文化コミュニケーション、多文化共生社会、多国籍チームなどについて解説する。
現代社会とホスピタリティ			2	鳥海 高太郎	航空業界・旅行業界を記者として取材し、執筆活動やテレビでのニュース解説等の経験多数。現場のホスピタリティにおける取材も多く、その経験を踏まえたケーススタディを授業の実施に活かしている。
ソーシャル・ネットワーク論			2	伊藤 大河	TVアニメの公式Twitterを複数運用した実務経験が、本講義の内容を解説することに活かされている。
情報倫理			2	伊藤 大河	システムエンジニアとして企業に勤務し、情報セキュリティに関わった実務経験が、本講義の内容を解説することに活かされている。
経営学		a,b	2	平林 信隆	ソニーグループ在籍時代に執行役員として経営に関わり、経営管理、組織人事、事業戦略、マーケティング、商品開発、品質管理、ITベンチャー企業設立、ファイナンスなど多岐に渡る職務経験を授業に活かし、単なる机上の学問にとどまらない、ビジネス現場で起きているリアルビジネスに結び付けていく。
経営戦略論		a,b	2	杉山 章	日産自動車(株)およびVolvoグループUDトラックス(株)で数多くの新車開発プロジェクトに従事し、事業戦略、製品戦略、イノベーション戦略および多国籍企業としてのグローバル・アライアンス等の実務経験を有している。授業では理論と実践の関係などを幅広く取り扱う。
企業法			2	安藤 尚徳	弁護士として、会社経営や、会社の紛争に携わった経験を活かし、実際に扱った事件を基に「活きた法」を解説する。
ライフ・プランニング論			2	三輪 真久	ファイナンシャルプランナーとしての20年間の実務経験や中小企業経営者としての経験を活かし、現在の社会情勢に関する情報や日常のお金回りに関する知識に関し、具体的かつ実践的な事例を交えながら解説する。
ライセンスゼミA（リテールマーケティング（販売士））			4	中谷 義浩	大学在籍時に販売士の資格を取得し、その後小売業に従事した。販売士検定での学習内容について、実例を取り入れ、解説することで、理解の促進を図る。

授業科目名	2017カリ授業科目名	クラス	単位数	教員氏名	実務経験と授業科目への関わり
キャリアプランニングⅠ		a,b,c	2	稲本 恵子 太原 靖一郎 田中 美和	企業人事部において社員の能力開発、採用、マネジメントに携わっていた経験と知識を授業内容に反映させている。
キャリアプランニングⅡ		a,b,c	2	稲本 恵子 太原 靖一郎 田中 美和	企業人事部において社員の能力開発、採用、マネジメントに携わっていた経験と知識を授業内容に反映させている。
キャリアプランニングⅢ		a,b,c	2	稲本 恵子 太原 靖一郎 田中 美和	企業人事部において社員の能力開発、採用、マネジメントに携わっていた経験と知識を授業内容に反映させている。
人材マネジメント論Ⅰ	人材マネジメント概論	a	2	太原 靖一郎	企業での人事経験（採用、育成、労務管理等）を活かし、企業での実例を教材にしたり、実務から得られた経験知識をプログラムに盛り込むなどを学生向けに編集して利用している。
企業財務論	企業財務概論	a,b	2	高橋 里枝	税理士としての実務経験をとおして、財務諸表の基礎的なしくみや見方などに対する授業が展開できる。
グローバルビジネス論			2	平林 信隆	ソニーグループ在籍時代にグローバルビジネスに関わり、全世界のアフターサービスシステム構築、欧州統合プロジェクト、携帯電話のグローバルマーケティング、ITベンチャー企業設立とニューヨークナスダック上場(IPO)、ハリウッドへの映画製作システム企画導入、さらには総合翻訳会社における日本のインバウンド関連企業へのソリューション提供など多岐に渡る職務経験を授業に活かし、単なる机上の学問にとどまらない、ビジネス現場で起きているリアルビジネスに結び付けていく。
マーケティング論ⅡA	マーケティング戦略		2	佐藤 正弘	食品メーカーの本社販売企画部企画グループにて、量販店向けのインスタ・プロモーションの企画立案と営業支援ツールの企画開発等を行っていた経験を踏まえて、具体的な事例を交えて説明する。
マーケティング論ⅡB	消費者行動論		2	佐藤 正弘	食品メーカーの本社販売企画部企画グループにて、量販店向けのインスタ・プロモーションの企画立案と営業支援ツールの企画開発等を行っていた経験を踏まえて、具体的な事例を交えて説明する。
マーケティングリサーチ			2	佐藤 正弘	食品メーカーの本社販売企画部企画グループにて、量販店向けのインスタ・プロモーションの企画立案と営業支援ツールの企画開発等を行っていた経験を踏まえて、具体的な事例を交えて説明する。
マーケティング論ⅡC	グローバルマーケティング		2	馮 晏	中国での製品開発の経験を活かし、中国と日本のマーケティングの違いを講義の中で解説する。
人材マネジメント論ⅡA	リーダーシップ論		2	平林 信隆	ソニーグループ在籍時代に様々なリーダーシップ教育を受け、それを実践してきた。リーダーシップで世界的に有名な南カリフォルニア大学にて、本講義の理論で紹介するリーダーシップ開発論のモーガン・マッコールや変革型リーダーシップで著名なジム・オトールより、直接リーダーシップ論の指導を受けた。また、ソニーのリーダー育成機関において、本講義の実践で紹介するジャック・ウェルチ（GE）、ルイス・ガースナー（IBM）、カルロス・ゴーン（日産）などの世界のトップリーダーと直接お話しをした際のリアルな知見を履修生と共有する。
人材マネジメント論ⅡC	国際人的資源管理論		2	平林 信隆	ソニーグループ在籍時代に執行役員として組織人事に関わった。具体的には採用、人事課、タレントマネジメント、コンピテンシーマネジメントなどがある。
会計学	財務会計論		2	高橋 里枝	税理士の実務経験において、財務諸表の作成等を行っていたことから、その実務経験を生かして、財務諸表の作成や分析について理論的及び実践的に授業で活かすことが可能である。
投資信託論			2	下里 裕吉	内外の銀行・証券・運用会社に20年以上勤務した経験・知見を活かし、実務から見た資産運用、金融・経済、金融機関の役割を論じていきたい。特に資産運用は、将来のライフプランを考えるうえでも、学生にとって否が応でも知らなければならない知識の一つであることから、資産運用に関する概念や仕組みを基礎から掘り起こし、実務に則して講義を行いたい。将来の家計を営むことを念頭において、学生に資産運用や金融に関心を持ってもらい、今後社会に出た時に少しでも役立つ何かを身に付けることを目指す。
金融論			2	下里 裕吉	内外の銀行・証券・運用会社に20年以上勤務した経験・知見を活かし、実務から見た金融論・金融市場、金融機関の役割を論じていきたい。また日本の年金や財政の問題、アベノミクス、コロナショックの発生とその後の大規模刺激策の影響などの時事問題についても、通説ではなく、金融機関所属のアナリストの視点から講義を行う。また金融の実態面を話すことで、学生に金融に関心を持ってもらい、今後社会に出た時に少しでも役立つ何かを身に付けることを目指す。
不動産ビジネス論			2	寺門 孝彦	実務経験あり。税理士として、不動産取引に伴う税務の仕事に従事している。そのため、不動産業者とのビジネス・チャンスは多い。不動産ビジネスは、収益性も大事だが、そのあとに続く税務をおろそかにしてはならない。税務も不動産ビジネスの大切な領域であることを講義では強調したいと思う。
簿記論			2	竹原 眞美	税理士資格取得後、税理士業を行い様々な企業の経理、会計、税務に携わってきた経験を生かして、実務における簿記の重要性を紹介することに役立っている。
社会保障論			2	宣 賢奎	医療従事者として病院に勤務。本教科の医療保険制度と介護保険制度の講義に実務経験を活かしている。
交通ビジネス論	観光交通論		2	稲本 恵子	航空会社の国際線客室乗務員として各国の空港事情や観光交通網の発展の現場と社会背景に触れてきたことをもとに、具体的事例を歴史的経緯をふまえて紹介し、現代の実生活や観光行動につなげて理解を深められるようにしている。鉄道会社の社員として、新幹線を中心とする鉄道インフラを支えてきた経験をもとに、鉄道を中心とする交通ネットワークについてわかりやすく説明している。

授業科目名	2017カリ授業科目名	クラス	単位数	教員氏名	実務経験と授業科目への関わり
観光マーケティング論			2	島海 高太朗	航空業界・旅行業界に関する執筆活動やテレビでのニュース解説等の経験多数。インターネット、SNS、雑誌、旅行ガイドブック、新聞を含めて最新のトレンドをいち早く取り込める情報収集能力、自分の街をしっかりとPRできるプレゼンテーション能力を授業の実施に活かしている。
観光メディア論			2	島海 高太朗	航空業界に関する執筆活動やテレビでのニュース解説等の経験多数。インターネット、SNS、雑誌、旅行ガイドブック、新聞を含めて最新のトレンドをいち早く取り込める情報収集能力、自分の街をしっかりとPRできるプレゼンテーション能力を授業の実施に活かしている。
スポーツマネジメント論			2	北島 信哉	大学スポーツマネジメント業務の経験から、国内大学の取組や大学スポーツが抱える課題を海外の大学との比較しながら授業を行う。
スポーツ指導論			2	入江 由香子	民間・公共施設での運動指導の実務経験を活かし、具体的な事例を交えながら解説する。
スポーツ法学			2	安藤 尚徳	弁護士として、スポーツ団体の運営や、スポーツ事故、マーケティングなどに携わった経験を活かし、実際に扱った事例を基に「活きたスポーツ法」を解説する。
コンテンツビジネス論	ICTビジネス概論		2	伊藤 大河	プロデューサーとしてTVアニメを製作した経験が、本講義の内容を解説することに活かされている。
財務諸表分析			2	中谷 義浩	クライアント企業及びその顧客の財務諸表の分析を数多く行ってきた。財務諸表分析が、ビジネスで実際にどのように活用されているのか、授業を通して伝える。
税法			2	高橋 里枝	税理士の実務経験において、税法の知識は必須である。税理士の実務経験を活かしつつ、生きた税について講義を行うことが可能である。
特別講義D（SDGs）			2	小林 尚行	政府開発援助機関でのSDGsに関する実務経験から具体的なSDGsへの取り組み事例等を提示できる。
特別講義E（SDGs）			2	小林 尚行	政府開発援助機関でのSDGsに関する実務経験から具体的なSDGsへの取り組み事例等を提示できる。

単位合計数

112

2021年度 実務経験のある教員による授業科目一覧

共栄大学教育学部教育学科

※学外でのインターンシップや実習を中心に位置づけている授業科目を含む。

授業科目名	クラス	単位数	教員氏名	実務経験と授業科目への関わり
数学		2	島内 啓介	実務経験あり。学校現場、教育委員会等での勤務経験が社会に巣立つ前の学生が身に付けておくべき数学力を考える上で有効である。
自然科学		2	片岡 祥二	小学校教員経験あり。学校教育活動を通して、子どもや保護者、地域等を対象に、自然科学に関する現象やトピック、動向などを、「どのような内容を」「どのような時期に」「どのような方法で」発信したり、啓発的したりしていくのがよいと考えられるか、また教育活動に有用としていくための工夫や配慮事項等について、具体的な実践の場面を紹介しながら授業内容を深めていく。
英語Ⅱ		2	小林 尚行	私立高校、民間英会話スクール講師としての教育経験及び政府開発援助実施機関、国連機関での実務経験を活かし、国際会議等でのディスカッションのリードの仕方などについて教授できる。
教授・学習心理学		2	生駒 忍	公立中学校心の教室相談員の経験を活かし、学校の現場感覚が反映された講義内容を提供する。
環境教育論		2	小林 尚行	政府開発援助機関での実務経験を活かし、SDGsへの取り組みに関する具体例等を提示できる。
現代教育の諸問題		2	濱本 一	埼玉県公立中学校校長を歴任し、学校運営や学習指導、人材育成に努める。埼玉県教育委員会の義務教育担当の部長職を務め、教育行政に深く関わり、今日教育課題を提示する。
学校ふれあい体験	①	2	濱本 一	小学校での研修を中心とする授業科目。体験前・体験後には、管理職の立場から、学級担任の立場からと担当がそれぞれ具体的に指導と助言を重ねている。埼玉県公立中学校教員、埼玉県教育委員会を経て現職（濱本）埼玉県公立小学校教員、管理職を経て現職（小川）埼玉県・東京都公立小学校教員を経て現職（岩川）
	②		小川 聖子	
	③		岩川 みやび	
初等国語（書写含む）	①②③	2	光野 公司郎	小学校教員の経験を生かし、単に知識として教科内容を身に付けさせるのではなく、それをどのように指導していくのかという観点を取り入れて、教材レベルで具体的に指導することができている。
初等算数	①②③	2	島内 啓介	実務経験あり。学校現場や教育委員会等での勤務経験が小学校教員に必要な数学の知識・素養の育成に有効である。
初等理科Ⅰ	①②③	1	片岡 祥二	小学校教員経験あり。子どもや教員の実態、学校現場の環境、教育界の動向等に触れたり、具体的な実践場面を紹介したりしながら授業内容を深めていく。
初等理科Ⅱ	①②③	1	片岡 祥二	小学校教員経験あり。小学校理科授業における観察・実験のポイントを中心に、子どもや教員の実態、学校現場の環境、教育界の動向等に触れたり、具体的な実践場面を紹介したりしながら授業内容を深めていく。
初等生活	①②③	2	小川 聖子	小学校1・2学年の担任として、生活科に関する授業を実践してきている。また、指導主事として県内外の生活科や総合的な学習の時間の授業の指導をしている。これらの経験を講義の中で活かしている。
初等図画工作Ⅰ	①②③	1	井ノ口 和子	東京都公立小学校での図画工作専科教員の経験から、図画工作の授業で使用する材料や用具・道具を実際に扱いながら、「題材」を通した“実践的な学び”を展開する。
初等図画工作Ⅱ	①②③	1	井ノ口 和子	東京都公立小学校での図画工作専科教員の経験から、図画工作の授業で使用する材料や用具・道具を実際に扱いながら、「題材」を通した実践的な学び”を展開する。
初等家庭Ⅰ	①②③	1	宮川 みさ子	小学校や教育委員会での勤務経験あり。実際に授業をする立場や授業者を指導する立場の経験から、学生が教職についた際に、即実践に繋がる具体的な授業づくりに活かされている。
初等家庭Ⅱ	①②③	1	宮川 みさ子	小学校や教育委員会での勤務経験あり。実際に授業をする立場や授業者を指導する立場の経験から、学生が教職についた際に、即実践に繋がる具体的な授業づくりに活かされている。
初等体育Ⅰ	①②③	1	小川 拓	小学校教諭として、22年間現場で体育指導にあたってきた。体育科各学年の発達段階や習得状況等を踏まえ、指導法の研修を積んできた。個の実態に合わせて指導を行うスモールステップの指導法を主にしながら、学校現場ですぐに役立つ指導法を実技と共に提供していく。
初等体育Ⅱ	①②③	1	小川 拓	小学校教諭として、22年間現場で体育指導にあたってきた。体育科各学年の発達段階や習得状況等を踏まえ、指導法の研修を積んできた。個の実態に合わせて指導を行うスモールステップの指導法を主にしながら、学校現場ですぐに役立つ指導法を実技と共に提供していく。
初等外国語	①②③	2	田山 享子	小学校現場での外国語活動実践経験や小学校外国語教育に関する研究成果を活かし、小学校外国語教育実践者育成や学生の小学校外国語教育に対する課題意識を高めている。
教職概論	①②③	2	濱本 一	埼玉県公立中学校校長等を歴任し、学校運営や学習指導、人材育成に努める。埼玉県教育委員会の義務教育担当の部長職を務め、教育行政に深く関わり、教職の業務内容等を指導する。
学校臨床心理学	①②③	2	和井田 節子	公立高等学校教諭として教育相談を約20年間担当し、相談の実践を重ねてきた。また、公立中学校で関羽セララーとして心理相談を担当した。現在は特別支援教育巡回支援員および勤務大学での学生相談を担当している。学校臨床心理学の授業では、学校における心理学的アプローチの現状や可能性について実務経験をもとに授業を組み立てることができる。
発達心理学	1, 2	2	酒井 博美	NPO法人における主に発達障害児に対する心理的支援の経験を活かし、発達の基礎理論・基本原則、各段階の心身発達特性、心理的発達支援を中心に伝える。
幼児心理学		2	北田 沙也加	公立保育所における非常勤保育士（延長保育）の経験を活かし、具体的な子どもの姿と心理学的知見を結びつけながら理解できるよう解説する。
初等教科教育法（国語）	①②③	2	光野 公司郎	小学校教員の経験を生かし、単にどのように指導していくのかという授業方法論を教えるのではなく、模擬授業を通して具体的に指導することができている。また、教育委員会という教育行政経験も生かし、高いレベルから模擬授業を評価できる。
初等教科教育法（社会）	①②③	2	橋本 隆生	小学校教諭。八王子市認定指導教員。学校現場で行われている教材開発の方法、学習指導案の書き方、授業研究の進め方、授業改善の方法等について伝える。
初等教科教育法（算数）	①②③	2	島内 啓介	中学校現場、教育委員会等での実務経験が算数の教育法の指導に関して、より良い授業の創造をするうえで学生時代に身に付けておくべき能力を指導する上で活用できている。
初等教科教育法（理科）	①②③	2	片岡 祥二	小学校教員経験あり。小学校で理科授業を実践していく上でのポイントや学習指導案の作成、それに基づく授業実践を中心に、子どもや教員の実態、学校現場の環境、教育界の動向等に触れたり、具体的な授業場面や教材を紹介したりしながら授業内容を深めていく。
初等教科教育法（生活）	①②③	2	小川 聖子	小学校1・2学年の担任として生活科の研究授業を二十数回実践してきている。また、指導主事等では、県内外の先生方の授業の指導を経験してきている。これらの経験を指導案の作成や模擬授業などでの指導に活かしている。

授業科目名	クラス	単位数	教員氏名	実務経験と授業科目への関わり
初等教科教育法（音楽）	①②③④	2	岩川 みやび	埼玉県公立小学校で音楽専科として指導。東京都公立小学校教員 学級担任として音楽科指導を重ねた。歌唱指導、合唱指導、器楽指導を中心に行い学生指導に活かしている。
初等教科教育法（図画工作）	①②③	2	井ノ口 和子	東京都公立小学校での図画工作専科教員の経験から、児童作品や授業での活動の様子などを画像や動画で紹介し、“実践的な学び”を展開する。
初等教科教育法（家庭）	①②③	2	宮川 みさ子	小学校や教育委員会での勤務経験あり。実際に家庭科の授業をする立場や授業者を指導する立場の経験から、学生が教職についた際に、即授業実践に繋げることができるような具体的な教科指導や授業設計に活かされている。
初等教科教育法（体育）	①②③	2	小川 拓	小学校教諭として、22年間現場で体育指導にあたってきた。体育科各学年の発達段階や習得状況等を踏まえ、指導法の研修を積んできた。個の実態に合わせて指導を行うスモールステップの指導法を主しながら、学校現場ですぐに役立つ指導法を実技と共に提供していく。
初等教科教育法（外国語）	①②③	2	田山 享子	小学校現場での外国語活動実践経験や小学校外国語教育に関する研究成果を活かし、小学校外国語教育実践者育成や学生の小学校外国語教育に対する課題意識を高めている。
総合的な学習の時間の指導法	①②③	2	小川 聖子	指導主事等で、県内外小中学校の先生方の授業の指導を経験してきている。これらの経験を指導案の作成や模擬授業などでの指導に活かしている。
特別活動の指導法	①②③	2	濱本 一	埼玉県公立中学校校長等を歴任し、学校運営や特別活動はじめ学習指導、人材育成等に努める。埼玉県教育委員会の義務教育担当の部長職を務め、教育行政に深く関わり、特別活動の指導内容等を示す。
I C T教育実践	①②③	2	伊藤 大河	システムエンジニアとして企業に勤務し、システム設計・開発・運用をした実務経験および自らプログラミングをした実務経験が、本講義の内容を指導することに活かされている。
生徒・進路指導論	①②③	2	井口 信二	小学校教諭・主幹教諭（学級担任、教務主任、生活指導主任、学年主任等）、小学校長等の実務経験を、「生徒指導の意義」「児童理解」「発達段階に応じた支援」「いじめ・不登校」「児童虐待」「発達障害への対応」「小学校キャリア教育の意義と課題」等の諸課題についての具体的な考察と理解を深めることに、活かすことができる。
教育相談	①②③	2	和井田 節子	スクールカウンセラーの経験、企業におけるメンタルヘルスアドバイザーの経験、公認心理師の資格を活かして授業を行う。
幼児理解の理論と方法		2	内田 千春	幼児教育機関に15年間勤務。幼児を理解するための方法や、保育者のあり方等を教授することに活かされている。
地域活動演習		1	小川 拓	小学校における勤務経験の中で、体育や学級活動、行事の中でレクリエーションを行ってきた。レクリエーション・インストラクターの資格も取得し実習も積んできた。その経験を活かし、対象者に応じたレク活動を提供し「こころの元気」を与えるような考え方や取組を伝えていく。レクリエーション事業やボランティア活動に参加し演習を積み重ねていく。※同種目、同団体に限らないように多種多様な活動に参加する。
レクリエーションの理論		2	伊倉 晶子	公益財団法人日本レクリエーション協会職員、総合型地域スポーツクラブNPO法人クラブしっくーずクラブマネジャー、志木市放課後子ども教室「宗岡りんくす」運営市民組織代表としてレク指導、レク支援多数。経験を活かし、実践に役立つ授業内容にしている。
レクリエーション演習		1	伊倉 晶子	公益財団法人日本レクリエーション協会職員、総合型地域スポーツクラブNPO法人クラブしっくーずクラブマネジャー、志木市放課後子ども教室「宗岡りんくす」運営市民組織代表としてレク指導、レク支援多数。経験を活かし、実践に役立つ授業内容にしている。
学校図書館メディアの構成		2	安達 洋子	実務経験有。学校司書、主任司書、学校図書館経営顧問の実務経験を活かし、学校図書館のメディアの構成の現状について講義する。学校図書館に関する研究を大学院修士及び博士課程で実践しており、学術的視点からも講義する。
学習指導と学校図書館		2	光野 公司郎	小学校教員の経験を生かし、単に知識として教科内容を身に付けさせるのではなく、それをどのように指導していくのかという観点を取り入れて具体的に指導することができている。教育委員会指導主事学校図書館担当の経験を生かし、行政からの観点からも指導が可能である。
教職実践演習（幼・小）	1	2	濱本 一 渋谷 修造	担当教員は公立小中学校の教職経験者であり、さらには校長や教育委員会での教育行政の経験者もいる。これまでの経験を生かし授業を進める。
	2		岩川 みやび 小川 聖子	
	3		光野 公司郎 田山 享子	
	4		島内 啓介 橋本 隆生	
	5		片岡 祥二 井ノ口 和子	
介護体験(事前・事後指導含む)	①	2	小野 奈生子	学外実習を中心とする授業科目。
	②		橋本 隆生	
	③		岩川 みやび	
幼稚園教育実習Ⅰ		2	岩川 みやび 山田 千明 篠原 俊明	学外実習を中心とする授業科目。
小学校教育実習		4	小川 聖子 小野 奈生子 濱本 一	学外実習を中心とする授業科目。
学校教育研修Ⅰ		2	植竹 丘	学外実習を中心とする授業科目。
学校教育研修Ⅱ		2		
学校教育研修Ⅲ		2		

単位合計数

94